



あきた 市議会だより

No.165

平成29年
2月3日

11月定例会の概要	P 2～3
議案等に対する会派別の表決状況	P 3～4
一般質問	P 5～9
電子表決システムについて	P 9
予算決算委員会・総務分科会の審査から	P 10
2月定例会のお知らせ（予定）	P 10

発行／秋田市議会 編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>
右のQRコードを読み取ると、過去の議会だよりもご覧になれます。



1月7日に行われた出初式の様子

11月定例会の概要

11月28日▶▶12月20日

11月定例会では、秋田市老人デイサービスセンター条例を廃止する件などの条例案11件、予算案16件、単行案7件をすべて可決したほか、人事案1件に同意しました。また、議員提案による秋田市議会会議規則案1件および意見書案1件を可決しました。



秋田県民会館（県・市連携文化施設建設予定地）

県・市連携文化施設整備推進経費

県と連携して整備を検討している県・市連携文化施設について、平成28年度策定する整備計画に基づき地質調査等を行います。また、平成29年度に行う基本設計業務を円滑に執行するため債務負担行為を設定します。

業務内容

地質調査業務委託、建物移転補償事前調査業務委託、費用便益分析調査業務委託、設計者選定委員会開催運営等

債務負担行為

5千759万5千円



大会PRキャラクター
んだッチ
©2015秋田県んだッチN0012



ねんりんピック秋田2017ダンス
スポーツ交流大会リハーサル大会

予算

ねんりんピック秋田 2017開催経費

平成29年9月に本県で開催する第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック秋田2017）の円滑な業務運営のため、本市実行委員会において会場設営・運営業務等の準備行為を平成28年度内に開始します。

業務運営のため、本市実行委員会において会場設営・運営業務等の準備行為を平成28年度内に開始します。

会期

29年9月9日から12日まで

本市開催種目

テニス、ゴルフ、弓道、水泳、サッカー、太極拳、ダンススポーツ、計7種目

1億7千459万6千円

債務負担行為

807万3千円

河辺たまごの郷 畜産クラスター事業

採卵養鶏の中心的経営体2社の規模拡大にかかる経費を支援します。

事業規模

- （株）中条たまご秋田農場 鶏舎3棟（21万羽規模）、鶏卵選別包装設備等
- （有）瀧田養鶏場 鶏舎4棟（5万羽規模）、鶏卵選別包装設備等
- 6億322万5千円

中学1年生に対し入学後に支給している新入学用品費を入学前に支給します。入学準備の負担軽減を図ります。

1千8万円

南部市民サービスセンター 第2期整備事業

南部公民館解体後の敷地に（仮称）南部市民サービスセンター牛島別館を整備します。

施設構造 鉄筋コンクリート造2階建て

施設機能 生涯学習・地域防災・地域活動支援機能

事業期間 28年度から30年度まで
開所時期 30年7月（予定）
継続費総額 7億8千522万6千円

産地パワーアップ事業

意欲のある認定農業者が実施する、高収益な作物・栽培体系への転換に向けた取り組みに対して支援します。

補助率 リース導入する農業機械の本体価格の2分の1以内

導入機械 トラクター、播種用アタッチメント等

611万8千円

条例

秋田市老人デイサービスセンター条例を廃止

八橋老人デイサービスセンター等の民間移行に伴い、老人デイサービスセンターを廃止するため、この条例を廃止しました。

太平小学校 2億1千94万4千円
太平小学校 12個 25個 20個
金足西小学校 桜小学校

小学校トイレ環境改善事業

老朽化したトイレを大規模改修するとともに、洋式化を推進します。

太平小学校 2億1千94万4千円
太平小学校 12個 25個 20個
金足西小学校 桜小学校

小学校就学奨励事業

中学1年生に対し入学後に支給している新入学用品費を入学前に支給します。入学準備の負担軽減を図ります。

単行案

秋田市にぎわい交流館
および秋田市中通一丁目自動車駐車場の指定管理者
を指定する件

秋田市にぎわい交流館

秋田市にぎわい交流館

秋田市にぎわい交流館

秋田市にぎわい交流館

秋田市にぎわい交流館

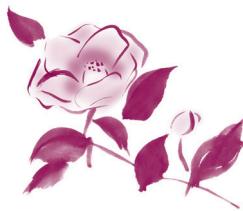
秋田市にぎわい交流館

秋田市にぎわい交流館

人権擁護委員

佐藤繁子氏(新任)

人事



本会議の主たる表決方法を起立による表決から電子表決システムによる表決に改めました。また、議員が出産する場合の欠席の届けについて定めました。

**秋田市議会会議規則の一部を改正
(議員提案)**

施行期日
28年11月28日から

本会議の主たる表決方法を起立による表決から電子表決システムによる表決に改めました。また、議員が出産する場合の欠席の届けについて定めました。

● 11月定例会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

市長提出	件名	秋水会(15)	そうせ(6)	市民ク(4)	公明党(4)	フロ秋(4)	社・市(3)	共産党(2)	議長※	議決結果
			○	○	○	○	○	○	○	
	◆秋田市職員の退職手当に関する条例および秋田市公営企業職員の給与に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市老人デイサービスセンター条例を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市リフレッシュガーデン条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市立学校給食センター条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市議会議員および秋田市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市にぎわい交流館および秋田市中通一丁目自動車駐車場の指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市老人福祉センターの指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市老人いこいの家の指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市公設地方卸売市場の指定管理者を指定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆市道路線を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆市道路線を認定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆大仙市道路線の認定を承諾する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市一般会計補正予算(第4号)の件	○	○ ×4	○	○	○ ×2	○	×	○	可決
	◆平成28年度秋田市土地区画整理会計補正予算(第2号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市市営墓地会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市中央卸売市場会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市大森山動物園会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市廃棄物発電会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市介護保険事業会計補正予算(第3号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市水道事業会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市下水道事業会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆平成28年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)の件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆秋田市職員給与条例等の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	◆教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	×	-

←4ページに続きます

議案、陳情に対する会派別の表決状況

● 11月定例会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

		件 名							秋水会 (15)	そうせ (6)	市民ク (4)	公明党 (4)	フロ秋 (4)	社・市 (3)	共産党 (2)	議 長※	議 決 結
市 長 提 出	◆秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可 決
	◆秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	◆秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	◆平成28年度秋田市一般会計補正予算（第5号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	◆平成28年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第3号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	◆平成28年度秋田市下水道事業会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
議 員 提 出	◆人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同 意
	◆秋田市議会会議規則の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	◆稲作農家の経営安定と担い手経営の確保に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	
	◆安全・安心の医療・介護の実現と医療従事者等の夜勤交代制労働の改善に関する意見書提出の件	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	否 決	
陳 情	◆長時間労働を是正する「労働時間の規制強化」に関する意見書の提出について	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	不採択	
	◆安全・安心の医療・介護の実現と医療従事者等の夜勤交代制労働の改善に関する意見書の提出について	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆介護従事者の勤務環境改善及び待遇改善の実現に関する意見書の提出について	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆地域の実情に応じた医療提供体制の確保に関する意見書の提出について	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆介護保険制度の充実・改善に関する意見書の提出について	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆高額療養費の限度額及び後期高齢者の窓口負担割合の維持に関する意見書の提出について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆年金制度改革及び年金積立金の株式運用の見直しに関する意見書の提出について	×	○ 5 ×1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆保健師によるこころの相談体制の充実について	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	—		
	◆県・市連携文化施設に関する整備計画（案）の撤回について	×	○ 2 ×4	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆視覚障がい者誘導用ブロックのある歩道の融雪化等について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
	◆プラスチック製容器包装の分別収集について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—		

※議長の賛否は、可否同数につき、議長裁決を行った場合のみ掲載しています。

会派内で賛否が分かれた場合、賛成(○)と反対(×)の人数を数字で掲載しています。

★略記している会派の名称

「そうせ」はそうせい、「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「フロ秋」はフロンティア秋田、「社・市」は社会・市民連合、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

[継続審査となった案件] 陳情 ◆老人いこいの家の存続について

継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP



議会の日程と
議案の結果



11月市議会
定例会



議員の表決
状況

意見書を
提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○稲作農家の経営安定と担い手経営の確保に関する意見書

請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者(代表者)の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（888）5784

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

答 市長就任から間もなく8年を迎えますが、この間、元気な秋田市を次の世代に引き継ぐため、将来世代に負担や課題を先送りしないよう一つ一つ具体的かつ誠実に取り組んできました。喫緊の最重要課題である人口減少に対しても、今後も長期的な視点に立ち、さらなる課題に取り組んでいく必要があります。今年度スタートした新・県都『あきた』成長プランの下、5つの成長戦略を実行・実現するため、引き続き市政のはじ取り役を担わせていただきます。また、来春の市長選挙への出馬を決意しました。

問 今後の市政運営に対する思いと3期目に向かう決意はどうですか。

△市長の政治姿勢 ◇議会への説明や市民への情報提供のあり方 ◇市職員の意識改革等 ◇補助金交付事業等 ◇本市の今後のまちづくり ◇泉・外旭川新駅（仮称）の整備

秋水会 安井正浩

泉・外旭川新駅（仮称）



答 泉・外旭川地区は、良好な居住環境が形成された地域ですが、バス交通の利用が不便な地域が一部存在し、また、鉄道の利用が困難であるなど、公共交通サービスの充実が求められます。新駅の設置は、鉄道とバスの交通結節によるフィーダー機能の充実を図ることにより、当該地区を初め周辺部を含めた地域住民の移動手段の選択肢の拡大につながるもので、また、アクセスマップ機能強化による都市活動や市民生活の質の向上が図られるほか、地域のいきわい創出への波及効果も期待されることから、同駅の実現に向けて取り組んでいきます。

問 同施設に関する整備計画（案）、芸術文化ゾーン構想、旧県立美術館の利用（案）等について、市民理解は十分得られていますか。

△次期市長選への出馬 ◇中長期視点における市政運営

小松 健

旧県立美術館の利活用

答 同美術館は、芸術文化ゾーンにおける役割を考慮し、ギャラリー機能やレジデンス機能に加え、本市にゆかりのあるアーティストの記録保存と活用のためのアーカイブ機能などを有します。（仮称）芸術文化交流施設として、他の施設とは異なる「創造」、「活動」、「交流」の場として、他の施設とは異なります。これにより、にぎわい交流館や県・市連携文化施設などの役割分担と連携による相乗効果を期待しているものであります。また、旧県立美術館を含めた芸術文化ゾーンについても、関係者等との意見交換を行うなど、市の考え方を共有してきました。こうしたことから、本計画等に対する市民理解は得られていてるものと認識していますが、引き続き説明や意見聴取を行い、本市の取り組みへの理解と協力が得られるよう努めます。



行政情報アプリ「マチイロ」について

スマートフォンやタブレット端末用の広報紙閲覧アプリ「i 広報紙」が「マチイロ」にサービス名称を変更しました。新たな機能も追加され、さらに便利になりました。

※マチイロ公式サイト <http://machihiro.town/>



アプリダウンロード QRコード

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

フロンティア秋田
佐藤哲治

答 岩見三内クリニック

問 同クリニック再開に向けての今までの取組状況と今後の見通しはどうですか。

答 岩見三内地区において医療サービスが提供できるよう、市内医療機関など複数の関係機関と協議してきましたが、現在のところ、医師確保等に課題がある状況です。引き続き同地区に向け努力していきます。

◇市民からの意見◇財政状況
◇きずなでホットしていあき
た寄附金（ふるさと納税）◇
県・市連携文化施設等◇外旭
川地区大型複合商業施設構想
等◇秋田版CCRC◇国際教
養大学の学生◇市町合併後の
検証◇新庁舎及び職員の執務
環境等◇災害時におけるドロー
ンの活用◇観光行政◇介護保
険制度◇少子高齢化問題◇子
育て支援◇いじめ問題◇農林
業等◇通学路◇定期バス路線
◇犬猫の殺処分◇河辺岩見温
泉交流センター◇岩見三内ク
リニック



河辺岩見温泉交流センター

答 同センターは、温泉を活用し、誰もが気軽に訪れ、地域間の交流を促進する場を創出するとともに、地域住民の日常的な交流の場および地域づくりの活動拠点とすることを目的として設置したものです。地域住民が主体的に運営にかかわり、多様な形で地域の情報を発信できるよう地域団体の代表者からなる管理協議会を指定管理者としました。12月からは同センターに意見箱を設置し、利用者から広く意見をいたいでいるところであり、その意見をもとに、より親しまれる施設を目指していきます。



答 運転免許センターの一
部機能移転については、一
義的には県および県警本部
が判断するのですが、中
心市街地へ運転免許センター
の一部の機能を移転するこ
とにより、運転免許証の更
新手續等の来街者が増加し、
にぎわいの創出につながる
ことから、今後、県および
県警本部に対し、移転につ
いて要望していきたいと考
えています。



平和公園

■ 本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル102ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

2月定例会の本会議は、2月14日、23日、24日、3月2日、16日に開催予定です。

河辺岩見温泉交流センター

問 同センターの事業目的
および運営方針は何ですか。
また、利用者へアンケート
等を行い、運営に反映させ
る考えはありませんか。

答 同センターは、温泉を活用し、誰もが気軽に訪れ、地域間の交流を促進する場を創出するとともに、地域住民の日常的な交流の場および地域づくりの活動拠点とすることを目的として設置したものです。地域住民が主体的に運営にかかわり、多様な形で地域の情報を発信できるよう地域団体の代表者からなる管理協議会を指定管理者としました。12月からは同センターに意見箱を設置し、利用者から広く意見をいたいでいるところであり、その意見をもとに、より親しまれる施設を目指していきます。

市民クラブ
花田清美

◇地方創生◇きずなでホット
していあきた寄附金（ふるさ
と納税）◇秋田市公共施設等
総合管理計画◇市営墓地◇介
護保険◇自殺対策◇地球温暖
化対策◇中心市街地の活性化
◇消防法令違反対象物に係る
公表制度◇投票率の向上

中心市街地の活性化

問 秋田県警察運転免許セ
ンターにおける運転免許証
の更新手続を中心市街地で
も行えるよう、県と交渉す
る考えはありませんか。

答 平成27年に市民と市営
墓地使用者を対象に行った
墓地に関するアンケートでは、
は、いずれも約7割の方が
合葬式墓地が必要と回答し
ています。また、身寄りの
ない方や市営墓地の使用者
からも、自分が亡くなつた
後の将来に対する不安から、
合葬式墓地に関して相談に
来る方も年々多くなってき
ており、合葬式墓地を新た
に整備していきます。

市営墓地

問 市営墓地に合葬式墓地
を整備する予定はありません
か。

フロンティア秋田
佐藤哲治

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

答 介護予防器具は、高齢者のみならず、幅広い世代の運動機能の維持を目的に身近な公園に設置しており、ウォーキングの際など気軽に近隣の方々の健康づくりに利用されています。今後は、設置場所や利用方法を地域包括支援センターへ情報提供することに加え、広報あきたなどによる周知に努め、さらなる利用促進を図っていきます。

問 公園に設置している介護予防器具の利用状況はどうですか。また、利用を促進するための取り組みについてどのように考えていましたか。

◇市長の政治姿勢◇県・市連携文化施設◇「芸術文化ゾーン」◇千秋公園再整備基本計画◇秋田港を中心としたにぎわいづくり◇子育て支援◇予防接種とがん検診◇高齢者施策◇大森山公園の整備◇投票率の向上

公明党秋田市議会
成なり沢さわ淳じゅん子こ

秋田港を中心とした
にぎわいづくり

問 土崎神明社祭の曳山行事のユネスコ無形文化遺産登録や北前船の日本遺産登録申請により土崎地区の活性化が期待されますが、今後、秋田港を中心としたにぎわいづくりをどのように考えていくのですか。

答 同行事のユネスコ無形文化遺産登録により、地域の活性化等に弾みがつくものと期待しており、また、平成29年4月の認定を目指す北前船寄港地の日本遺産登録についても、認定後は同地区への注目度が増すとらえています。本市としては、29年度開催予定の食と芸能大祭典において、本県からともにユネスコ無形文化遺産に登録された行事と連携し、世界に誇る秋田の伝統芸能を多くの皆様に披露したいと考えおり、併せて国内外への情報発信を行います。加えて、29年度完成予定の（仮称）土崎みなと歴史館等の観光資源を活用しながら、地元の諸団体と連携し、取り組んでいきたいと考えています。

裁判所合同庁舎、秋田
地方法務合同庁舎および秋
田合同庁舎の建て替えの際
には、中心市街地の活性化
に資するために、中通・大
町地区への移転を国に働き
かけてはどうですか。

答 山王地区にある官公庁施設は、一地区に集中的に配置し、利用者の利便性の向上や公務の能率化の増進等を目的に、昭和33年には団地の官公庁施設として都市計画決定され、これまで行政拠点のインフラ整備とともに、その機能は県全体の発展を牽引してきたと認識しております。第6次秋田市総合都市計画の土地利用方針においても、引き続き県の中心拠点と位置付けています。同施設の建て替えは、一義的には国が判断すべきものですが、本市としては、都市計画決定の経緯とともに

答 八橋運動公園は、総合運動公園として整備したものであり、陸上競技場等のほか県立体育館も立地するため、現状においても、スポーツ拠点として市民に利用されています。公園内施設では、県立体育館の老朽化が課題となつております。このあり方について、県と協議していくものと認識しています。その他のスポーツ施設は、当面、現状の配置を前提に維持管理していくたいと考えており、施設更新の際に、防災機能を含めた施設のあり方を検討していきたいと考えています。

官公庁施設移転後の土地の活用や八橋運動公園の各スポーツ施設の再配置も含め、防災機能を有した多目的スタジアムやアリーナを建設し、交流人口拡大を見据え、一体的にスポーツゾーンを形成する考えはありますか。

に、総合都市計画の土地利用方針に沿って誘導することができ望ましいと考えています。

11月18日 各派会長会議
 総務委員会（閉会中）
24日 議会運営委員会
25日 建設委員会（閉会中）

11月28日 議会運営委員会
11月定例会（12月20日）
12月20日 議会運営委員会
1月 6日 編集委員会

1月16日 編集委員会
20日 総務委員会（閉会中）
25日 議会運営委員会視察（26日まで）
31日 厚生委員会（閉会中）

議会の動き

一般質問

そうせい
宇佐見 康人

問 土崎地区と秋田港の振興
事のユネスコ無形文化遺産登録に関連し、今後、本市の観光資源として、同行事をどのように生かしていくのですか。

答 同行事を本市の観光資源として生かしていくため、今回共にユネスコ無形文化遺産となつた、角館祭りのやま行事、花輪祭の屋台行事の2行事とは、食と芸能大祭典などのイベントを通じてその連携を確固たるものとした上で、全国における他の、山・鉢・屋台行事との広域連携にも取り組んでいきたいと考えています。同時に、曳山のミニチュアの制作・展示、パンフレットやホームページでのPR

◇子育て支援◇子供の貧困対策◇次世代が地域コミュニティーに参加できる環境づくり◇県・市連携文化施設に係る駐車場の確保◇スポーツ振興◇交通安全対策◇防災行政◇土崎地区と秋田港の振興◇大森山動物園◇市長の政治姿勢

のほか、祭りを通じての人づくりやまちづくり、国内外への情報発信についても、地元の諸団体の皆様と協議しながら進めていきたいと考えています。

子どもの貧困対策

問 子どもの貧困対策に関する施策については、子ども未来部が中心となり、関連する部局でプロジェクトチームを組織して進めていくべきではありませんか。

答 本市では、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、平成28年度中に子どもの貧困対策に関する計画を策定することとしています。子どもの貧困問題は多岐にわたり、府内の関係課所室の連携が不可欠であることから、28年5月に、福祉、教育など9課所室で組織する「子どもの貧困対策府内連絡会」を設置し、連携の強化を図っています。今後も、すべての子どもたちが自分の将来に夢と希望を持てる成長できるよう、子どもの貧困対策に総合的に取り組んでいきます。

秋水会
齊藤 善悦

◇市長の政治姿勢◇新・県都『あきた』改革プラン◇中心市街地と地域のまちづくり◇新・県都『あきた』成長プラン◇市民の安全・安心等◇農業振興◇教育行政

市長の政治姿勢

問 「次の世代に引き継ぐべき元気な秋田市」をどのように考えていますか。

答 次の世代に引き継ぐべき元気な秋田市の姿とは、市民が自分らしく輝き、豊かな時間を過ごし、年齢や性別、職業、障がいの有無にかかわらず、夢や希望を自由に思い描くことのできる社会と考えます。家族や地域のあり方が変化し、国内外の経済情勢が厳しさを増す中、日々の暮らしに懸命で、心にゆとりを持つことが容易ではなくなっています。すると感じており、地域全体で子どもたちを暖かく見守り、高齢者や障がいのある方を思いやることが求められています。子どもたちは自分の将来に夢と希望を持てる成長できるよう、子どもたちの貧困対策に総合的に取り組んでいきます。両親は子どもを育てながら祖父母への感謝の思いを新たにし、祖父母は子どもの笑顔に元気をもらう、そうした世代間の絆が幸せの実感につながり、互いの価値観を認め合い尊重し誰もが生き生きと暮らすことができると思っていました。

がら祖父母への感謝の思いを新たにし、祖父母は子どもの笑顔に元気をもらう、そうした世代間の絆が幸せの実感につながり、互いの価値観を認め合い尊重し誰もが生き生きと暮らすことができると考えています。

農業振興

問 国による米の生産調整廃止への対応をどのように考えてていますか。

答 平成30年以降、行政主導による米の生産数量目標の配分が廃止され、農家等の集荷業者自らが生産量を決定することとなります。しかし、これまでどおり生産数量の配分を望む声が強いことから、秋田県農業再生協議会では、県全体の生産の日安を提示し、これをもとに各市町村の農業再生協議会にも生産の日安の策定を求めています。本市としては、米の適正な作付けを維持するためには、経済所得安定対策による支援も重要と考えております。生産調整廃止後の米制度の全体像について、29年度の早い段階で示すよう、国や県に強く要望していきます。

■ 本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しております。傍聴される方がいる場合がありますのであらかじめご了承ください。

議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

駅前の大屋根等は沿道商店街等が事業主体で実施しており、一義的には受益者が実施すべきものと考えていることから、市が建設することは困難ですが、建設・維持管理に係る費用負担等に関し、地元関係者の合意形成が図られた場合、市とともに積極的に支援することとしており、商店街などが行う共同施設設置事業の費用の一部を補助しています。また、仲小路振興会へのヒアリングを実施していますが、費用負担や歩行者専用道路化に関する地元の合意形成を図ることが困難と伺っています。

問 中心市街地のまちづくりする考えはありませんか。

答 ◇市長の政治姿勢 ◇平成29年度当初予算と今後の財政見通し等 ◇中心市街地のまちづくり ◇危機管理体制 ◇除排雪 ◇福祉行政 ◇教育行政 ◇スポーツ施策

秋水会
小木田 喜美雄

市長の政治姿勢

問 3期目を担うとすれば、どのようなビジョンを持つて本市のまちづくりを行うのですか。

答 平成28年度よりスタートした第13次秋田市総合計画では、人口減少等が進行する中、次の世代に引き継ぐことができる元気な秋田市づくりを進めています。同計画では、都市内地域分権の定着と市民協働の実践に努めることとしており、市内7地域の市民サービスセンターの完成に伴い、地域特性を生かしたまちづくりを進め、その成果を共有する必要があるととらえています。また、成長戦略に位置付けた「芸術文化・スポーツ・観光などによる都市の魅力向上」を図り、新たな人の流れを生み出すことが肝要と考えており、こうした方向性の下、本市が有す

議員席に設置された賛成・反対のボタンで表決します。



議員席の表決ボタン



表決の様子



新しい議場で、表決結果も見やすくなりました。ぜひ本会議の傍聴にお越しください。



ディスプレー表示



傍聴席から表決結果を見た様子

予算決算委員会および予算決算委員会総務分科会での主な質疑応答です



予算決算委員会の様子

予算決算委員会で修正案が否決

予算および決算に関する事項

12月16日に開催された予算決算委員会で、一般会計補正予算案のうち、県・市連携文化施設整備推進経費および同推進経費に係る債務負担行為を削除する修正案が2名の委員から提出され、委員間で質疑応答が行われましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

— 予算決算委員会において行われた、修正案に対する委員間の質疑応答 —

委員（質問） 県・市連携文化施設整備について、もう少し時間をかけて議論することが必要であることから修正案を出したとのことです。が、議論の成熟にはどの程度の時間が必要と考えているのですか。また、12月下旬には第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定申請が予定され、本補正予算の修正は、同申請にも影響を与えるのではないかですか。

委員（提出者答弁） 現在の同施設整備計画案について、大半の市民が納得して進める内容とはなっていないと感じており、議論が熟せば手続きを進めてもよいのですが、期限を設けるなど時間の問題ではないと考えています。また、同施設整備計画は、第2期秋田市中心市街地活性化基本計画と密接かつ複雑な関係にあるものですが、市民が納得するものでなければ、同基本計画についても実効性のあるものにはならないと考えることから、申請への影響よりも同基本計画について拙速に議論を進めることの方が問題であり、適切ではないと考えています。

企画財政部 第2期秋田市中心市街地活性化基本計画を策定する中で、内閣府には県・市連携文化施設の駐車場の確保についても説明してきた経緯があり、このたび申請までこぎつける段階にきました。ここで駐車場整備の関連経費が先送りされれば、大臣認定に少なからず影響があると考えられ、仮に認定が遅れる、もしくは認められないとなつた場合には、県・市連携文化施設整備事業をはじめ、民間商業施設の大規模改修等、同計画に位置付けることで補助金の交付を受ける予定とした事業の財源の確保ができなくなるなど、本市の中心市街地のまちづくりに大きな影響が生じる可能性があります。

予算決算委員会

委員（質問） 県・市連携文化施設整備について、もう少し時間をかけて議論することが必要であることから修正案を出したとのことです。が、議論の成熟にはどの程度の時間が必要と考えているのですか。また、12月下旬には第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定申請が予定され、本補正予算の修正は、同申請にも影響を与えるのではないかですか。

予算決算委員会 総務分科会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

予算決算委員会

委員（質問） 県・市連携文化施設整備について、もう少し時間をかけて議論することが必要であることから修正案を出したとのことです。が、議論の成熟にはどの程度の時間が必要と考えているのですか。また、12月下旬には第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の内閣総理大臣認定申請が予定され、本補正予算の修正は、同申請にも影響を与えるのではないかですか。

委員 県・市連携文化施設整備推進経費について、建物移転補償費事前調査委託費のみ予算措置を遅らせた場合、どのようなデメリットが生じますか。

会派（3人以上所属の会派）を代表して質問します。

代表質問予定者

岩谷政良（秋水会）
藤田信（そうせい）
渡辺良雄（市民クラブ）
松田豊臣（公明党秋田市議会）
伊藤巧一（フロンティア秋田）
工藤新一（社会・市民連合）

次回のあきた市議会だよりは平成29年5月5日発行予定です。

一般質問予定者

小野寺誠、赤坂光一（秋水会）
小原譲（そうせい）
鈴木知（日本共産党秋田市議会議員団）



日 程

2月14日	本会議
23日、24日	本会議「代表質問」
27日	常任委員会・分科会
28日	分科会
3月1日	常任委員会
2日	本会議「一般質問」
3日	常任委員会
6日～9日	常任委員会・分科会
14日	常任委員会
16日	本会議

※ 秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。

日程、代表および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。